

特集展示のご案内

長崎歴史文化博物館は、2階常設展示室の展示替えを定期的に行っております。
是非、ご取材・情報掲載の程、宜しくお願い申し上げます。

慶賀と融思



江戸時代、長崎画壇の重鎮であった石崎融思と川原慶賀は、幼少期より長年にわたって親交があったことが知られています。本展はそのような二人に着目して作品をご紹介します。彼らの画題は決して類似のものばかりではありませんが、唐絵の画技を習得してきた融思と西洋の陰影法を現場で身につけた慶賀とでは、同じ主題を描くにしてもやはりその技法は異なっています。同時代を生き抜いた二人の交流に思いを馳せつつも、それぞれの特徴にご注目ください。

会 期：2017年10月17日(火)～11月12日(日) ※10月30日休館
時 間：8:30～19:00(最終入館18:30)
会 場：特集展示室
(2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内)
観覧料：大人600円、小中高校生300円
※県内小中学生は無料

◎川原慶賀の作品も多数展示しております。3階企画展示室で開催中の「川原慶賀の植物図譜」とあわせてご覧ください。



石崎融思《柿色鳩図》長崎歴史文化博物館蔵

町屋展示「冬至」



江戸時代、長崎の唐人屋敷では冬至の日に酒宴を開きました。お酒はもとより、唐人団子や善哉餅(ぜんざいもち)なども出される盛大な宴でした。

この風習が長崎市中に伝わり、長崎の商家では床の間に関帝の軸を掛け、特に善哉餅といって汁粉をお供えしました。そして、子どもたちは木切れなどで唐人船の模型を作り、「冬至の日に唐人船が来ました。おめでとうございます」と言って家々をまわり、お菓子などを貰ったといいます。

会 期：10月17日(火)～12月24日(日)
時 間：8:30～19:00(最終入館18:30)
会 場：2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン 町屋
観 覧 料：大人600円、小中高校生300円 ※県内小中学生は無料

